

| | | | |
|------|------------------------------|-----|-------|
| 文書名 | 院内感染防止対策マニュアル E-9：器械・器具の処理方法 | | |
| 文書番号 | 感対-共手-マニュアル E-9-1-220601 | ページ | 1 / 1 |

E-9：器械・器具の処理方法

| Spaulding 分類 | クリティカル器具 | セミクリティカル器具① | セミクリティカル器具② | ノンクリティカル器具 | |
|-----------------------|---|--|---|--|--|
| 定義 | 無菌の組織や血管に挿入するもの | 粘膜・創のある健常でない皮膚に接触するもの | 粘膜・創のある健常でない皮膚に接触するもの | 創のない皮膚と接触するもの粘膜とは接触しない | |
| 主な器具類 | 手術器具・カテーテル類・鑷子・クーパー・針・生検鉗子など | 内視鏡・人工呼吸器・麻酔器具など | 喉頭鏡ブレード・ネズライザー・ガーグルベースン・マウスピースなど | 体温計（腋窩）・聴診器・血圧計・膿盆・環境など | |
| 滅菌・消毒方法（CDC ガイドラインより） | 滅菌 いかなる形態の微生物の生命をも完全に排除または死滅させる 高圧蒸気滅菌 過酸化水素低温ガスプラズマ滅菌など | 高水準消毒 芽胞が多数存在する場合を除き、全ての微生物を死滅させる グルタラル、フタラル、ディスオーバ、ステリハイド | 中水準消毒 芽胞以外の結核菌、栄養型細菌、多くのウイルス、真菌を死滅させる 次亜塩素酸系、ヨード系、アルコール系、フェノール系 | 低水準消毒または清拭・洗浄 ほとんどの細菌、ある種のウイルス、真菌は殺滅するが、結核菌や芽胞などを殺滅しない 第四級アンモニウム塩、クロールヘキシジン、両性界面活性剤 | |
| スタンダードプリコーション | ①酵素素洗浄剤に浸漬又は清拭をして血液などの汚染物を念入りに除去する 外来部門は一次消毒が必要 ②中材で滅菌 | ①酵素素洗浄剤に浸漬又は清拭をして血液などの汚染物を念入りに除去する ②下記のうちいずれか ・グルタラル 30分 ・ウォッシャーディスインフェクタ洗浄 93°C5分（中材） ③すすぎ ④乾燥 | ①酵素素洗浄剤に浸漬又は清拭をして血液などの汚染物を念入りに除去する ②下記のうちいずれか ・エタノール拭き ・0.01%次亜塩素酸ナトリウム液に1時間浸漬 ③乾燥（ガーグルベースンは予めビニール袋でくるみ汚れなければ袋のみ交換） | ①下記のうちいずれか ・エタノール拭き ・除菌クロス清拭 ・洗浄 ②乾燥 血圧計のマンシレットは通常の選択でも可 | |
| 接触感染予防策① | MRSA 疥癬 MDRP VRE ノコウイルス HBV など | スタンダードプリコーションに順ずる | スタンダードプリコーションに順ずる | スタンダードプリコーションに順ずる | 病室内に置き、患者専用 患者退院後は ①下記のうちいずれか ・エタノール拭き ・除菌クロス清拭 ・洗浄 ②乾燥 |
| 接触感染予防策② | ノコウイルス デング熱ウイルス など | スタンダードプリコーションに順ずる | スタンダードプリコーションに順ずる | ①酵素素洗浄剤に浸漬又は清拭をして汚染物を除去する ②0.01%次亜塩素酸ナトリウム液に1時間浸漬 ③乾燥（ガーグルベースンは予めビニール袋でくるみ汚れなければ袋のみ交換） | 病室内に置き、患者専用 患者退院後は ①下記のうちいずれか ・0.05%次亜塩素酸ナトリウム液 ・ルビスタで清拭 ・エタノール2度拭き（金属はミルトン以外） ②乾燥 |
| 飛沫感染予防策 | インフルエンザ ムンプス など | スタンダードプリコーションに順ずる | スタンダードプリコーションに順ずる | スタンダードプリコーションに順ずる | 病室内に置き、患者専用 患者退院後は ①下記のうちいずれか ・エタノール拭き ・除菌クロス清拭 ・洗浄 ②乾燥 |
| 空気感染予防策 | 結核 水痘 麻疹 など | スタンダードプリコーションに順ずる | スタンダードプリコーションに順ずる | スタンダードプリコーションに順ずる | 病室内に置き、患者専用 患者退院後は ①下記のうちいずれか ・エタノール拭き ・除菌クロス清拭 ・洗浄 ②乾燥 |